

山形県広報誌県民のあゆみ令和3年1月号テキスト
データ読み上げ用として加工しています。

<表紙>

山形県広報誌／県民のあゆみ 令和3年1月号 第619号

県民のあゆみ1月号

県民の皆さまへ 新型コロナウイルス感染症関連情報（3ページ）

特集 県民みんなで結婚・子育てを応援 社会全体で取り組む子育てに温かい環境づくり（4ページ）

奏であう人 山形のものづくりに新しい息吹、未来への取組み（8ページ）

やまがた伝説 発酵食品文化（16ページ）

表紙写真キャプション

「やまがた縁結びたい」が取り持つ縁で結ばれた加藤さんファミリー。県では出会いから結婚、妊娠・出産、子育てまで幅広い支援を行っています。（撮影協力：山形市児童遊戯施設ベにっこひろば）

<2から3ページ>

タイトル **県政できごとアラカルト** こんなことがありました

1）県民生活をより便利に、より豊かに、より幸せに

「Yamagata 幸せデジタル化」有識者会議（令和2年9月23日、10月20日、11月5日 山形市）

新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、社会のあらゆる分野でデジタル化が急速に進んでいます。県内でも、自治体の手続きのほか、産業や介護・医療・福祉等の各分野でのデジタル化を通して、県民の皆さんが幸せに暮らせるように、国内外の有識者の方々による会議を開催し、「Yamagata 幸せデジタル化構想」に向けた提案をいただきました。今後は、構想の実現に向けて、県民の誰もが取り残されることなくデジタル化の恩恵を受けられるように取組みを進めていきます。

写真キャプション オンラインで行われた有識者会議の様子

2）コロナ禍の県内を山形県応援ソングで元気に

「Ku-Wa de MOMPE（くわとモンペ）」のお二人が来庁（令和2年11月9日 山形市）

とんねるずの石橋貴明さんと鮭川村出身のテレビ演出家マッコイ齊藤さんの音楽ユニット「Ku-Wa de MOMPE（くわとモンペ）」の楽曲「Stranger to the city（ストレンジャー トウ ザ シティ）」は、最上リバー、さくらんぼなど山形のキーワードが盛り込まれた山形県応援ソング。YouTubeでの再生回数は182万回（注釈）を超え、インターネットを中心に大人気です。この日、楽曲を通して本県の魅力を世界に発信いただいた功績に対して、知事からお二人に感謝状を贈呈しました。県では、この曲を活用して山形を盛り上げていきます。

写真キャプション モンペ氏（マッコイさん） くわ氏（石橋さん）

注釈 令和2年12月1日時点の累計数

3)「やまがた創生」実現に向け、また一歩前進！

日本海沿岸東北自動車道「酒田みなと IC～遊佐比子（ゆざひこ） IC」間が開通（令和2年12月13日）

この日、県民が待ち望んだ酒田みなと IC～遊佐比子 IC 間 5.5 kmが開通し、高速道路が遊佐町まで達しました。日本海沿岸東北自動車道の整備により、国道7号の津波規制区間を回避した信頼性の高い道路ネットワークが形成され、物流効率化による地域産業の振興、環鳥海エリアへのアクセス性向上による広域観光の振興など、庄内地域の経済活性化や交流人口の拡大が期待されます。県では、引き続き、高速道路網の早期完成に向け、全力で取り組んでいきます。

写真キャプション 写真提供：国土交通省 酒田河川国道事務所

新型コロナウイルス感染予防に取り組みましょう！

全国で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっています。感染拡大を抑えるために、引き続き、

マスクの着用やこまめな手洗い

身体的距離の確保

3つの密の回避

など基本的な感染対策を実践していただくとともに、感染リスクが高まる「5つの場面」（注釈）に注意しましょう。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面1 飲酒を伴う懇親会等

場面2 大人数や長時間におよぶ飲食

場面3 マスクなしでの会話

場面4 狭い空間での共同生活

場面5 居場所の切り替わり

注釈 政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会で、これまでのクラスター（小規模な感染集団）事例を分析して感染リスクが高まる5つの場面について取りまとめたもの。

冬季における換気・保湿のポイント

冬は暖房のために窓を閉め切ることが多く、乾燥しやすい季節です。感染予防のため、これまで以上にこまめな換気を心がけるとともに、保湿にも気を付けてください。

寒い環境でも換気の実施

●機械換気による常時換気を心がけてください。

●機械換気が設置されていない場合は、室温が下がらない範囲で常時窓を開けておきましょう。

（窓を少し開け、室温は18℃以上を目安に）

湿度40%以上を目安に、適度に保湿

●換気しながら加湿も忘れずに。

（加湿器の使用や洗濯物の室内干し）

●こまめな拭き掃除を。

STOP! コロナ差別!

感染した人やその家族、職場関係者、医療従事者などへの心無い言動やSNSへの書き込み、差別や偏見、いじめ等は決して行わないようにお願いします。

山形県新型コロナ安心お知らせシステム

県民の皆様が安心してお店を利用したり、イベント等に参加したりできるようにするため、LINE を活用した新型コロナのお知らせシステムを導入しました。

訪問した店舗やイベント会場等のポスターのQRコードを読み取るだけで、LINE の ID で来訪履歴が記録されます。万一、その店舗・会場等で新型コロナウイルス感染症が発生した場合、濃厚接触が疑われる方に対して、県から迅速にお知らせします。

《事業者の皆様へ》

施設やイベントに制限はなく、どこでも、何か所でも登録可能です。大型店舗などでは、フロア別や店舗別での登録をお願いします。

Q. どうすれば施設を登録できるの？

- 1 施設登録用QRコードをスマートフォンで読み取る。
- 2 表示されたQRコード発行画面に施設名やメールアドレス等の必要事項を入力し登録する。
- 3 登録完了後に画面からQRコードポスターのデータをダウンロード。
- 4 ポスターを印刷して施設内に掲示し、お客様にQRコードの読み取りを呼びかける。

施設登録はコチラ <https://yamagata.qr.liny.jp/entry>

注釈 QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

県民の皆さまへ

県民の命と健康を守るために新型コロナと闘う医療従事者の皆さま、県民生活を支える保育・介護等の福祉事業者の皆さま、県内の経済・社会活動を支える皆さま、感染拡大防止にご協力いただいている全ての県民・事業者の皆さま、本当にありがとうございます。

県民一丸となって、この難局を乗り越えましょう！

問い合わせ 健康福祉企画課 電話番号 023-630-2292

詳しくは検索窓に「山形 コロナポータル」と入れてクリック。

<4 から 5 ページ>

タイトル

特集 県民みんなで結婚・子育てを応援 社会全体で取り組む子育てに温かい環境づくり

第4次山形県総合発展計画政策の柱4『県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり』

第4次山形県総合発展計画の実現に向けて取り組む5つの政策の柱について、主要な取組みを紹介するシリーズの第4回目です。

子どもは、いつの時代においても社会の宝です。県では、誰もが安心して子どもを生み、育てることができる社会実現のために、あらゆる世代が「山形での子育て」に関わり、応援する取組みを進めています。

「子育てするなら山形県」を取り巻く現状

県では「やまがた子育て応援プラン」を策定し、山形県に生まれた子どもたちが健やかで心豊かに成長できるように、子育て支援を進めています。しかし、結婚観・家庭観の変化による未婚化・晩婚化の進行や、経済的負担の増大による不安感等を理由に少子化が止まらない状況です。未婚者の意識に目を向けると、その75%以上が結婚に対して意欲的な一方で、独身でいる理由として、男女ともに半数以上が「出会いがないこと」をあげています。そのため、これまで以上に、一人ひとりの出会いや結婚の希望がかなえられる環境づくりと支援が求められています。

未婚者の結婚に対する考え

【いずれは結婚するつもりだ】

18～49 歳

未婚者全体 75.3%

男性未婚者 76.0%

女性未婚者 74.2%

独身でいる理由

【30～40 代未婚者男性】

適当な相手にめぐり合わない 53.3%

異性とうまく付き合えない 23.2%

結婚資金が足りない 14.1%

【30～40 代未婚者女性】

適当な相手にめぐり合わない 64.5%

異性とうまく付き合えない 30.6%

結婚資金が足りない 16.1%

出典：山形県「平成30年度県政アンケート」

結婚・育児についての県民の意識

これから結婚・子育てというライフステージを迎える若年層の結婚・子どもへの意識は、ともに「分からない」が2割以上となっており、まだまだ自分事として捉えられていないことがうかがえます。また、子育てを終えたシニア層は、子育て支援ボランティア活動に対して、半数以上が「ぜひ、やりたい」「条件が合えばやりたい」と考えています。このような方々の気持ちを実際の活動に結びつけ、地域の「子育て応援団」を増やしていくことで、安心して子育てできる環境づくりを進めていくことが必要です。

県では、若年層からシニア層とあらゆる世代が子育てに関心を持ち、支える社会を目指しています。今回はその中から、新たな取組みをご紹介します。

【若者の結婚・子どもへの意識】

〈結婚〉

したい 67.8%

したくない 9.7%

分からない 21.8%

無回答・無効 0.7%

〈子ども〉

持ちたい 63.2%

持ちたくない 10.2%

分からない 25.9%

無回答・無効 0.7%

出典：学生向けライフデザインセミナーアンケート（令和元年）

【シニア世代の子育て支援ボランティアへの意向】

ぜひ、やりたい 40%

条件が合えばやりたい 16%

迷っている 36%

やりたくない 4%

無記入・無効 4%

出典：シニア層ボランティア意識アンケート調査（令和2年）

（１）身近なお店が出会いを応援！

県内に五千店以上あり、誰もが定期的に訪れる理容店・美容室。県では今年度から、理・美容店の皆さんの協力を得て、出会いを求めているお客様が最初の一步を踏み出すための後押しをする取組みを始めました。普段からの身近なお付き合いの中でのサポートは大きな力になります。

理・美容店の皆さん、出会いほのぼの応援し隊に登録して出会いを求めているお客様を応援しませんか。

【出会いほのぼの応援し隊】

- 1 申込み
- 2 登録・ハラスメント対策の説明
- 3 出会いや結婚に関する情報を提供

〈やまがた出会いサポートセンター〉

〒990-0043 山形市本町 2-4-18 ニーズビル 2 階

電話番号 023-615-8755

FAX 023-665-5498

詳細はこちら <https://www.dsc-yamagata.jp/honobono/>

写真キャプション

【登録した美容室の声】

出会いや結婚を望んでいるお客様に情報を提供して、背中を押してあげたいと思っています。一生懸命応援します。(有限会社ベガ【山形市】)

【お客様の声】

出会いサポートセンターを知ることができました。センターへの登録を考えたいと思います。

(2) 若者の結婚・家庭観を醸成

少子化が進み、若い世代が目指すお手本となる子育て世帯が減少しています。普段の生活で結婚や子育てを身近に感じる機会が減っていることが、未婚化・晩婚化や出産へのためらいにつながっていると考えられます。今後は、若者に、自らの人生を設計する上で、早い段階で主体的に結婚・子育てを意識してもらう必要があります。そのきっかけとするため、今年度新たに、若者自らが、中高生から同世代に向け、山形での結婚や出産、子育て、ワーク・ライフ・バランスについて考える動画を制作しました。

【動画「やまがた暮らし」制作者の声】

山形の良さに「気づき」、理想を「築く」というコンセプトのもと、山形でのリアルな暮らしをインタビュー動画として制作しました。同世代の皆さんにぜひご覧いただき、“自分ゴト”として山形での暮らしを考えてもらえればと思います！

写真キャプション 東北芸術工科大学デザイン工学部企画構想学科片岡英彦ゼミの皆さん

完成した動画は県公式 YouTube チャンネル「やまがた Channel」で配信中！

詳しくはこちら <https://www.youtube.com/playlist?app=desktop&list=PL45C1C23750852224>

(3) シニア層も子育てを応援！

子育てへのシニア層の関わりは、子育て支援の担い手確保だけでなく、多様な人との交流による子どもたちの心豊かな育ちが期待できます。子育て世代にも、地域の「子育て応援団」が増えることは安心感につながる利点もあります。

子育てボランティアに興味のあるシニア層と子育て支援団体をつなぐために、双方のニーズを調査しました。調査結果に基づき両者のマッチングを進めるとともに、意欲のあるシニア層向けにボランティアに必要な知識を伝える研修会を行っています。

【やまがた他孫（たまご）育て講座】

昨年 12 月、県内 4 地域 5 か所で、子育て支援ボランティアに役立つ、最近の子育て事情や子どもへの接し方などを学ぶ講座を開催しました。参加者からは『『できる人ができる時にできることを行う、それがボランティア』だと学び、自分でもやれるという自信につながった』、『パパママが安心して子育てできるよう手助けしたい』等の感想がありました。子育て支援ボランティアに興味がある方は、子育て支援課にお問い合わせください。

【やまがた結婚応援事業のご紹介】

結婚したお二人に祝福のメッセージと県産品を贈り、新生活を応援します。

〈贈呈品〉

県産米（つや姫・雪若丸各 2 kg）と県産品カタログギフト

〈対象〉

令和2年11月1日から令和3年3月末までに山形県内の市町村窓口に婚姻届を提出した県内在住のご夫婦

詳しくは検索窓に「やまがた結婚応援事業」と入れてクリック。

山形ウェディング協議会と連携して結婚応援動画を作りました。

詳しくはこちら→<https://www.youtube.com/watch?app=desktop&v=S2qHS6uGRJg>

「子育てしたい！」山形県へ

県では、今後も出会いから結婚、妊娠・出産、子育てまで切れ目ない支援を行うとともに、家庭と仕事の両立支援にも取り組み、子育てする心地良さを実感できる山形県を実現していきます。

■ぜひご覧ください！ 県政テレビ番組 いき☆いきやまがた放送のご案内

「県民みんなで結婚・子育てを応援」と題して県内民放4局で特別番組（30分）を放送します。

山形放送（YBC）1月10日（日曜日）午後3時55分から

さくらんぼテレビ（SAY）1月17日（日曜日）午後4時から

テレビユー山形（TUY）1月24日（日曜日）午後4時から

山形テレビ（YTS）1月30日（土曜日）午後3時25分から

放送時間は変更になる場合があります。

問い合わせ 子育て支援課 電話番号 023-630-2668

<6から7ページ>

タイトル 山形県の民俗芸能を次世代へ！

写真1キャプション 杉沢比山（遊佐町）

写真2キャプション 黒川能（鶴岡市）

写真3キャプション 林家舞楽（河北町）

民俗芸能とは

私たちが暮らす地域に古くから受け継がれてきた、祭りや伝統行事の中で行われる歌や踊りです。プロの舞台芸能と違い、開催日時や場所が決まっており、地域の人々によって演じられ、「お祝いのためのもの」や「災いや穢（けが）れを追い払うもの」等に分類されます。県内には、国から文化財指定を受けている3つの芸能（上の写真）をはじめ、田植踊やシシ踊り、農村歌舞伎など100を超えるものが現存します。

地域の絆と個性を育む民俗芸能

人と人をつなぎます！

祭りや伝統行事には、多くの人々の関わりが不可欠です。

行事の練習等を通して「大人と子ども」「親と親」「子どもと子ども」など、多くのつながりが生まれ、地域の絆を深めます。

民俗芸能で培われた絆が地域社会を支えてきました。

人を育てます！

祭りや伝統行事への関わりを通して、地域に伝わる信仰や歴史を学ぶとともに、地元への誇りと愛着を育みます。礼儀作法やしきたりに触れ、自然への畏（おそ）れなど先人の考え方を知ることが私たちの視野を広げます。

写真キャプション 綱木獅子踊当日の様子（米沢市）

民俗芸能を取り巻く課題

少子高齢化や人口減少により、民俗芸能の後継者や祭り等の担い手の確保が年々困難になっています。そして、これらの課題は、それぞれの地域や民俗芸能団体だけで解決することが難しくなっています。

県では、地域の宝である民俗芸能が将来にわたり継承されるよう取り組みを行っています。

課題解決を図るための基盤づくりや情報交換を行うためのネットワークづくりを進めています。

民俗芸能団体懇話会

県では平成 23 年度から民俗芸能団体に対し、ネットワークづくりにむけた働きかけを行っています。現在、最上・置賜地域では、地域の民俗芸能団体同士が主体の懇話会組織が立ち上がっており、継続して情報交換が行われています。

さらに、最上地域では、独自にフェスティバルを企画し、毎年 11 月にゆめりあ特設ステージ（新庄市）で開催しています。

最上地区民俗芸能団体懇話会

会長 中川 昭弘 さん（川ノ内囃子（ばやし）保存会会長）

芸能分野が違っても、団体同士で懇親を深め、連携を図っています。何百年も続いてきた文化を絶やさぬよう、世代を超えて力を合わせ、継承活動を進めていきます。

写真キャプション 幅神楽（はばかぐら）（舟形町）

団体の継承意欲の後押しと、皆さんに地域の文化に関心をもってもらえるよう、発表の場を設けています。

ふるさと芸能のつどい

平成 26 年度から、山形市七日町大通りを会場に、民俗芸能を中心とした団体を県内 4 地域から招き、特色ある芸能の発表を行っていただいています。多くの人に見てもらうことで、それぞれの技にも、より一層磨きがかかります。

民俗芸能に限らず、皆さんの地域にどのような文化が伝承されているか、知っていますか？QR コードから、山形の伝統文化をぜひご覧ください。

写真キャプション 富本小学校大黒舞（村山市）

詳しくはこちら→

<http://www.yamagata->

[furusatojuku.jp/?post_type=actograph&s=%E3%81%B5%E3%82%8B%E3%81%95%E3%81%A8%E8%8A%B8%E8%83%BD%E3%81%AE%E3%81%A4%E3%81%A9%E3%81%84](http://www.yamagata-furusatojuku.jp/?post_type=actograph&s=%E3%81%B5%E3%82%8B%E3%81%95%E3%81%A8%E8%8A%B8%E8%83%BD%E3%81%AE%E3%81%A4%E3%81%A9%E3%81%84)

皆さん、地元や県内各地のお祭り等に足を運び、実際に民俗芸能に触れてみてください。

そして、本県の特徴ある文化を次の世代につないでいきましょう！

県内の民俗芸能の詳細はこちら→<https://www.yamagata-takara.com/folkart>

問い合わせ 文化振興・文化財課 電話番号 023-630-3341

タイトル 令和元年度の決算がまとまりました

一般会計

一般会計の決算額は、歳入が6,046億3,528万円、歳出が5,968億5,173万円で、歳入歳出差引額（形式収支）は77億8,355万円の黒字となりました。歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越す事業に充てる財源を控除した実質収支は、49億7,485万円の黒字となりました。

歳入額 6,046 億円

（内訳）

自主財源は、県税1,104億円、諸収入596億円、その他732億円の計2,432億円。

依存財源は、地方交付税1,745億円、県債874億円、国庫支出金771億円、その他224億円の計3,614億円。

歳出 5,969 億円

（内訳）

教育費1,118億円、公債費891億円、民生費755億円、土木費741億円、農林水産業費488億円、商工費473億円、総務費400億円、警察費268億円、衛生費214億円、その他622億円

令和元年度の主な取組み

やまがた創生の拡大・加速

- ・「自然と文明が調和した新理想郷山形」の実現に向けて①県民総活躍、②産業イノベーション、③若者の希望実現、④健康安心社会、⑤県土強靱化を県政運営の基盤として「やまがた創生」を拡大・加速
- ・多様な人材の育成・確保、県民所得・生産性の向上と人手不足の解消、災害対応力の強化や消費税率の引上げへの対応など、直面する諸課題に対応

決算額の推移

平成27年度／歳入5,999億円／歳出5,908億円

平成28年度／歳入5,987億円／歳出5,916億円

平成29年度／歳入5,912億円／歳出5,841億円

平成30年度／歳入5,949億円／歳出5,875億円

令和元年度／歳入6,046億円／歳出5,969億円

決算額は、前年度と比較して、歳入は97億円、歳出は93億円増加しました。

調整基金残高の推移

各年度末残高は、県債一括償還のための積立を除いた出納整理期間終了後の数値です。

平成27年度／311億円

平成 28 年度／254 億円
平成 29 年度／245 億円
平成 30 年度／265 億円
令和元年度／236 億円

調整基金（財政調整基金及び県債管理基金）の残高は、予算編成における財源不足に対応したため、前年度と比較して 29 億円減少しました。

県債残高の推移

平成 27 年度／県債残高 1 兆 1,811 億円
内訳／臨時財政対策債 4,438 億円／補正予算債 537 億円／その他県債 6,836 億円
平成 28 年度／県債残高 1 兆 1,746 億円
内訳／臨時財政対策債 4,473 億円／補正予算債 543 億円／その他県債 6,730 億円
平成 29 年度／県債残高 1 兆 1,633 億円
内訳／臨時財政対策債 4,495 億円／補正予算債 563 億円／その他県債 6,574 億円
平成 30 年度／県債残高 1 兆 1,660 億円
内訳／臨時財政対策債 4,479 億円／補正予算債 594 億円／その他県債 6,587 億円
令和元年度／県債残高 1 兆 1,732 億円
内訳／臨時財政対策債 4,404 億円／補正予算債 678 億円／その他県債 6,650 億円

行財政改革プランで掲げるその他の県債（総額から臨時財政対策債と補正予算債等を除いた県債）残高が 28 年度末残高を下回るという目標を達成しました。

公営企業会計

総収益は 134 億 438 万円、総費用は 93 億 4,561 万円で、純利益は前年度比 14.1%増の 40 億 5,878 万円となりました。

これは、台風による影響で 10 月の降水量が多かったことや暖冬による早期融雪などで水力発電量が増加し、電気事業の料金収入が増加したことなどによるものです。

各会計別の決算の状況

電気事業／

総収益／62 億 400 万円
総費用／30 億 3500 万円
純利益／31 億 6900 万円（前年度比 8.5 パーセントの増）

工業用水道事業／

総収益／5 億 6900 万円
総費用／4 億 3300 万円
純利益／1 億 3600 万円（前年度比 22.5 パーセントの増）

公営企業資産運用事業／

総収益／1 億 4700 万円
総費用／1 億 1500 万円
純利益／3100 万円（前年度比 45.6 パーセントの減）

水道用水供給事業／

総収益／64 億 8400 万円

総費用／57 億 6200 万円

純利益／7 億 2200 万円（前年度比 54.5 パーセントの増）

合計／

総収益／134 億 400 万円

総費用／93 億 4600 万円

純利益／40 億 5900 万円（前年度比 14.1 パーセントの増）

病院事業会計

総収益は 400 億 9,000 万円、総費用が 401 億 9,900 万円で、総収支は 1 億 900 万円の純損失となりました。
平成 25 年度以降 7 期連続の経常損失となり、厳しい経営状況にあります。

県立病院の決算の状況

中央病院

総収益／246 億 5000 万円

総費用／238 億 5500 万円

総収支／7 億 9500 万円

新庄病院

総収益／87 億 1700 万円

総費用／87 億 9200 万円

総収支／マイナス 7500 万円

河北病院

総収益／33 億 7600 万円

総費用／41 億 5000 万円

総収支／マイナス 7 億 7400 万円

こころの医療センター

総収益／31 億 900 万円

総費用／31 億 500 万円

総収支／400 万円

本局

総収益／2 億 3800 万円

総費用／2 億 9700 万円

総収支／マイナス 5900 万円

合計

総収益／400 億 9000 万円

総費用／401 億 9900 万円

総収支／マイナス 1 億 900 万円

平成 25 年度以降の経常収支の推移

平成 25 年度

経常収支／マイナス 5 億 100 万円
平成 26 年度
経常収支／マイナス 10 億 3200 万円
平成 27 年度
経常収支／マイナス 19 億 5100 万円
平成 28 年度
経常収支／マイナス 18 億 6600 万円
平成 29 年度
経常収支／マイナス 3 億 2400 万円
平成 30 年度
経常収支／マイナス 9 億 2600 万円
令和元年度
経常収支／マイナス 4 億 4400 万円
注釈 経常収支＝総収支－特別損益

注釈 単位未満を四捨五入しているため、合計や差し引きが一致しないことがあります。

問い合わせ

一般会計／会計局会計課 電話 023-630-2716
調整基金、県債については総務部財政課 電話 023-630-2044
公営企業会計／企業局総務企画課 電話 023-630-2735
病院事業会計／病院事業局県立病院課 電話 023-630-3104

<8 から 10 ページ>

タイトル **奏であう人** ボリューム 58

撮影場所 株式会社金龍 遊佐蒸溜所

キーワード 山形のものづくりに新しい息吹、未来への取組み

伝統の技術と AI（人工知能）を生かし、製造業に新たな価値と可能性を吹き込む松本さん、山形初のウイスキーづくりにゼロから挑戦する岡田さん、齋藤さんに、山形でのものづくりについてお話をお聞きしました。

岡田 汐音（おかだ しおね）さん

平成 6 年生まれ、北海道出身、酒田市在住。株式会社金龍 製造課・遊佐蒸溜所勤務。山形大学理学部卒業後、2018 年入社。大学で学んだ専門を生かし、糖化・発酵工程に携わるほか、広報・デザイン、営業・来客対応を担当する。

松本 晋一（まつもと しんかず）さん

昭和 45 年生まれ、千葉県出身、東京都在住。株式会社 IBUKI 代表取締役社長。2014 年、河北町にある株式会社 IBUKI（旧安田製作所）の経営に参画。2018 年には第 7 回ものづくり日本大賞 経済産業大臣賞「ものづくり

「企業」部門を受賞。鶴岡工業高等専門学校 特別講師、東北芸術工科大学 特別研究員も務める。

齋藤 美帆（さいとう みほ）さん

平成6年生まれ、酒田市出身、酒田市在住。株式会社金龍 製造課・遊佐蒸溜所勤務。山形大学農学部卒業後、2017年入社。入社半年後から当時は構想段階だった蒸留所開設準備室に配属される。現在、主に蒸留工程を担当し、糖化・発酵工程もサポートする。

製造業の支援と山形県のものづくりへの貢献

製造業向けコンサルティング、設計者育成をはじめとする技術支援、社会に役立つAI（注釈）の導入など、製造業を中心に先進的な取り組みを進めてきた松本さん。

河北町の歴史ある金型メーカーのIBUKIに経営参画し、経営改革と金型のブランド化を実践。業績不振に困窮する同社に大復活劇をもたらし、経済産業省の「地域未来牽引企業」にも選定されました。

「現在は、山形県やそれ以外の地域に、売上100億円企業を45社作り出すことを目標に、地元企業経営者ジュニアを対象とした経営塾の開催などを行っています」。

松本さんはこうも言います。

「金型は山形県の伝統工芸品だと思っています。その存在を継続させて将来につないでいくストーリーを作ることが自分の役目だと考えています」。

注釈 Artificial Intelligence（人工知能）の略。人間のように知的な処理能力を持つ情報システム。

写真キャプション

高級ガラスのような透明度と質感を実現した極薄で割れない、メイド・イン・ヤマガタの樹脂製ピアグラス。IBUKIが創業以来80年培ってきた金型の設計・製造技術が生かされている。

未経験の女性二人から始まったウイスキーづくり

一方、遊佐蒸溜所で全く経験のないウイスキーづくりを任せられることになった齋藤さんと岡田さん。

特に齋藤さんは、金龍の会社説明会に参加したときは、まだ同社がウイスキー事業に参入することを知らなかったと話します。

「地元で、食品関係の仕事に関わりたと思っていました。酒づくりはおもしろそうだと興味があったものの、ウイスキーをつくる話を初めて聞かされたのは入社当日でした」。

焼酎とウイスキーは共に蒸留酒であるため、これまで培ってきた酒造技術が生かされたのかと思いきや、同社の佐々木雅晴社長は、ウイスキーへの敬意を込めて、あえて焼酎づくりの職人ではなく、未経験者によるウイスキーづくりを決意されたと言います。

蒸留所開設前の準備段階から関わった齋藤さんが話を続けます。

「何をどう始めてよいか誰も分からなかったため、ウイスキーの本場スコットランドの設備メーカーから技術のレクチャーを受けました。すべて英語なので通訳を通し、分からないところは教本を読み、少しずつ覚えながら自分たちのつくり方を決めていきました」。

齋藤さんの1年後に入社した岡田さんは、大学進学のため山形に来て、自分の世界が広がったと言います。

「知る人のいない土地で、一から人間関係を築き、また新たな趣味もできました。その経験から、新たにチャレンジしていく楽しさがあるウイスキー事業に魅力を感じ、この地に残ることを決めました」。

入社した2018年の11月から仕込みがスタートしましたが、何が正解か、どんなウイスキーなら合格点なのか、試行錯誤を積み重ね一心不乱に取り組んできました。大手酒造メーカーや他の蒸留所の皆さんに相談したり意見交換したりしながら、3シーズン目を迎えます。ようやく酒質や味も安定してきて、完成まで微調整の段階に入ってきたところです」。

写真キャプション

遊佐町の田園風景の中に建つ蒸留所。背景には、ウイスキーづくりに欠かせない豊富な伏流水をもたらす烏海山の風景が広がる。貯蔵庫の地下にも水脈が通り、熟成に必要な湿度を保つ。

伝統と先進技術、アナログとデジタルの融合

二人の話に耳を傾けていた松本さんが口を開きます。

「お二人とも、先入観がそもそもなかったこともあり、変化を嫌がらない姿勢が素晴らしいですね。

私がIBUKIで行った最も大きな経営改革の一つだけあげるなら、変化を日常化し楽しむこと、変化を当たり前に受け入れるという社員の意識改革です」。

松本さんは、後継者不足で技術の継承が難しくなっている、各地の伝統工芸などの熟達者の思考や技術をAIで見える化し、社会全体で広く活用できる取組みを進めています。

また、昨年10月には、山形県内11高校の生徒が部活動として参加してAIを学ぶ「やまがたAI部」運営コンソーシアム（共同事業体）を発足させ、その代表に就きました。

「産学官および金融機関が参加し、奨学金制度を設けるなど、AI関連の人材育成を目的に設立しました。すでにこのコロナ禍のなかでもオンラインでの講義が始まっています。今後は、育成した人材が地元企業で活躍できる仕組みもつくっていきます」と松本さん。

さらにこう続けます。

「長い伝統を持つ優れた技術の継承と、AIを生かした効率化、つまりアナログとデジタルの融合がこれからのものづくりには不可欠です。

先ほど、変化することの大切さを話しましたが、変化を厭（いと）わない者からイノベーションは起きていきます。ですから、変化に柔軟な、特に女性と若者を社会変革の原点にしようと考え、“未来は君たちのものだから君たちがつくろう”と呼びかけています」。

松本さんの言葉に岡田さんがうなずきます。

「ウイスキーの製造過程でもコンピューターで自動制御するなどデジタル化されている部分はありますが、理想の温度やテイスティングはやはりアナログな人の手や舌でコントロールしていくことが不可欠です。

また、ウイスキーづくりを女性が担当しているのは世界でも珍しいそうです。私たちと同じ世代の女性がウイスキーに興味を持ち、親しむきっかけになればと思います。

原酒を3年間寝かせ、2022年春頃の国内・海外同時発売を目標にしていますが、熟成具合で早まるか遅れるか、はっきりしていません。ただ、国内にクラフトウイスキーの蒸留所が50か所以上あるなかで1、2位を争う味との高い評価もいただいています。

このような反響は、自分たちのやってきたことが間違っていなかったという安堵（あんど）や、発売に向けてのモチベーションになっています」。

写真キャプション

IBUKI 社屋前に集合した「やまがたAI部」に参加する高校生。山形県、山形市、鶴岡市、酒田市、山形大学、東北芸術工科大学、東北公益文科大学のほか、県内企業、金融機関などが運営に関わる。

写真キャプション

世界が憧れる山形初のジャパニーズウイスキーを目指し、2018年に最初に製造された記念すべき「0001」番の原酒から、現在は約1500本の樽（たる）が眠りにつき、販売のときを静かに待っている。

ものづくりへのこだわりと技術者の喜び、誇りを

岡田さんが話す山形初となるウイスキーづくりに、これからの山形のものづくりの可能性を見る松本さん。

「手を抜かず手間暇かけ、心を砕きながらものづくりに向き合う姿勢を持ち続けることが、企業や商品の価値を高めていきます。今後のものづくりにおいて、これが何より大切だと改めて実感します」。

岡田さんが応えます。

「山形は、北海道出身の私でも身も凍るような厳寒の冬や、昼夜の寒暖差が激しい夏に代表されるくっきりとした四季があり、名峰から流れ出る清らかな伏流水や県土を覆う豊かな森林など自然に恵まれた土地だと思います。そのような風土が、ものづくりへの真面目さ、妥協を許さない品質へのこだわりを育てて来たのかもしれない。」最後に松本さんは、大きな話題となった自社の樹脂製ビアグラスを開発・販売した理由を明かしてくれました。

「我が社の金型は、製造業のお客様の部品を作るためのものであり、普段、一般の人の目に触れることはありません。そこで、IBUKIの優れた樹脂成形技術を生かし、『私たちがつくっているものはこれです』と形に表すことで、社員に技術者としての誇りと喜びを感じてほしかったのです。

今後は、社内に限らずものづくりに関わるすべての人が、仕事で歓喜できる、喜び合える機会を作りたい、やりがいを語り合える舞台を用意したいと考えています」。

<11 ページ>

タイトル **県議会だより** 第82号

新年のごあいさつ 金澤 忠一 議長

皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えのことに謹んでお慶び申し上げます。

県議会では、新型コロナ対策の更なる強化と災害に強い県土づくりを促進し、県民の皆様の安全・安心な暮らしを守るために全力で取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

決算審査の概要

令和元年度山形県一般会計歳入歳出決算など17決算及び決算に関連した4議案は、決算特別委員会を設置して審査した結果、12月1日の本会議において、認定・可決されました。決算特別委員会の総括質疑における主な内容は次のとおりです。

自由民主党 楳津 博士 議員 寒河江市・西村山郡選挙区 10月23日

- ◆SNSを活用したいじめ相談体制のあり方といじめの認知件数の傾向について
- ◆出生率向上に向けた子育て支援・少子化対策の取組みについて
- ◆児童虐待防止対策等について

- ◆令和元年度の県政運営の評価について
- ◆介護職員確保対策の現状と今後の取組みについて
- ◆森林経営管理制度の推進について

誹謗中傷をなくし共に支え合うことにより新型コロナウイルス感染症の克服を目指す決議

12月4日、令和2年12月定例会本会議において、新型コロナウイルス感染症を理由とした差別や偏見、誹謗中傷等をなくし、県民一人ひとりが共に支え合いながら、コロナ禍の困難な時期を乗り越えていくことを呼びかける決議を、次のとおり、全会一致で可決しました。

写真キャプション 決議案を説明する加賀議会運営委員長

決議

現在、新型コロナウイルス感染症は、全国的に急速な感染拡大が進んでおり、本県においても11月から感染者が急増しています。その中にあって、県民は、感染拡大の防止に細心の注意を払いながら、社会経済活動の両立に向け、懸命に取り組んでいます。

こうした状況の下、感染者やその家族、学校や勤務先等に対しSNS等の媒体による匿名での心ない誹謗中傷や、間違った情報の拡散、感染症に対する不安や恐れから感染者や感染経路を詮索する事例などが発生していることは憂慮すべきことです。

これらの行為は、偏見による不当な差別であり、人権擁護の観点からも看過できません。また、コロナ禍を契機として、山形県民が長い間培ってきた「思いやり」や「やさしさ」という美しい文化を失ってしまうことは、大きな損失であり、何としても防がなければなりません。

新型コロナウイルスは、気づかないうちに誰もが感染する可能性があります。今、私たちが行うべきことは、感染防止策の徹底であって感染者を誹謗中傷することではありません。医療・福祉従事者をはじめ多くの方々が困難な状況の中で頑張っています。今こそ、私たち一人ひとりが、共に支え合うことが何よりも大切なことです。よって、本県議会は、誹謗中傷の根絶を目指すとともに、新型コロナの諸課題に真摯に取り組んでまいりますので、県民の皆さまにおかれましても、共に支え合いながら、この困難を乗り越えてまいりましょう。

問い合わせ 編集発行／山形県議会事務局議事調査課 電話番号 023-630-2845

詳しくは検索窓に「山形県議会」と入れてクリック。

<12から13ページ>

タイトル **地域の旬だより** 各地からの情報をお届けします。

最上エリア 雪を活（い）かして野菜をさらにおいしく！

雪国「山形」でも特に豪雪地帯のここ最上地域で、普段は厄介者の雪を活用した“おいしい”取組みが始まりました。真室川町を中心に、秋に収穫した野菜を雪の下や雪室で貯蔵し「やまがた雪やさい」というブランド名で売り出しているのです。雪中は気温 0℃、湿度 90%前後と野菜の保管に適した環境。また、一定期間冷涼な状況で保管されることで、凍らないように野菜自らデンプンを糖分に変えたり、野菜の呼吸が減少しエネルギーの消

耗が減ったりすることで食味も良くなります。生産者にとっても出荷時期の平準化、冬場の収入確保といったメリットがあります。

現在はニンジン、大根、キャベツ、白菜の4品目が「やまがた雪やさい」として1月から2月末まで出荷されており、購入した方からは「えぐみや青臭さが少なく食べやすい」「甘みが強くおいしい」と好評です。

去年は記録的な少雪により、貯蔵や出荷の調整などに大変苦労しました。今年は、例年並みの積雪を期待し、高品質な「やまがた雪やさい」の出荷に向け、生産者の皆さんが一丸となって頑張っています。ぜひお試しください！

写真キャプション 元気いっぱいの生産者の皆さん

問い合わせ 最上総合支庁農業技術普及課 電話番号 0233-29-1333

大阪エリア 京都で“山形の干し柿作り”を体験！

大阪事務所では、関西の小学校等で山形県の農産物を使った食育活動を行い、本県の食の魅力をPRしています。今年度は秋に、京都市伏見区の向島藤の木小学校で、5年生の児童29名を対象に干し柿作り体験授業を開催しました。

晴天に恵まれた11月6日、大阪事務所の職員が講師となり、始めに山形県の気候風土や特産物について写真などを交えながら詳しく紹介しました。続いて、お待ちかねの干し柿作り。子どもたち自ら上山産の柿の皮をむいて、軸に紐を通し、校庭に設置したテントの下につるす作業を行いました。

完成は約1か月後の12月7日、京都の寒風にさらされ程良く締まった状態の干し柿に目を輝かせる子どもたち。早速、市販されている山形県産干し柿との食べ比べを行いました。干し柿を食べたことが無い子どもも多く、濃縮された上品な甘みに「初めての味！」「自分で作ったものの方がおいしい」「いや、山形の方がおいしいよ」などの感想があり、とても貴重な体験となったようです。

今後も大阪事務所では、さまざまな活動を通して、関西をはじめ西日本の皆さんに本県の魅力を発信していきます。

写真キャプション1 左：みんなで皮むき

写真キャプション2 右：おいしい干し柿が完成

問い合わせ 県大阪事務所 大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階 電話番号 06-6341-6816

県内おススメ文化・スポーツ情報

山形県総合文化芸術館オープニング事業

祈りの声 奏でる聲（こえ）

聲明（しょうみょう）コンサート

《花びらは散っても花は散らない》

仏教の経典に僧侶が旋律を付けて唱える仏教音楽「聲明（声明）」は、日本のグレゴリオ聖歌とも言われ、その芸術性が世界でも高く評価されています。約30名の僧侶の“声”が重なり合い生み出される神秘の響きを、ぜひご体感ください。

開演日時

3月6日（土曜日）午後2時

出演

声明の会・千年の聲

曲目

四箇法要「花びらは散っても花は散らない」 附 宮内康乃 作曲

《海霧讃歎》 他

会場

やまぎん県民ホール（山形市）

料金

S席：5,000円、A席：4,000円、B席：3,000円（25歳以下はS, A席が1,000円引き）

詳しくは検索窓に「やまぎん県民ホール」と入れてクリック。

問い合わせ

やまぎん県民ホールチケットデスク 電話番号 023-664-2204（受付時間 水曜日から月曜日 10時から19時）

注釈 本事業は「やまがたの文化応援キャンペーン」の対象外となります。

山形交響楽団定期演奏会情報

第289回定期演奏会

開演日時

1月16日（土曜日）午後7時

1月17日（日曜日）午後3時

出演

指揮 阪 哲朗

演目

芥川也寸志：交響三章

プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲第2番ト短調作品63

ベートーヴェン：交響曲第7番イ長調作品92

会場

山形テルサホール（山形市）

前売券

一般 4,500円 ほか

庄内定期演奏会 酒田公演

開演日時

1月11日（月曜日・祝日）午後3時

出演

指揮 飯森範親

演目

チャイコフスキー：バレエ音楽「くるみ割り人形」組曲 作品71a「花のワルツ」 他

会場

酒田市民会館 希望ホール（酒田市）

前売券

一般 4,500円 ほか

詳しくは検索窓に「山形交響楽団」と入れてクリック。

問い合わせ 文化振興・文化財課 電話番号 023-630-3342

プロスポーツゲーム情報

「パスラボ山形ワイヴァンズ」ホームゲーム

開催日時

1月9日（土曜日）午後6時

1月10日（日曜日）午後2時

対戦チーム

熊本ヴォルターズ

開催日時

1月27日（水曜日）午後7時

対戦チーム

アースフレンズ東京Z

開催日時

2月13日（土曜日）午後6時

2月14日（日曜日）午後2時

対戦チーム

青森ワッツ

試合会場

県総合運動公園（天童市）

詳しくは検索窓に「パスラボ山形ワイヴァンズ」と入れてクリック。

「プレステージ・インターナショナル アランマーレ」ホームゲーム

開催日時

1月30日（土曜日）午後3時

対戦チーム

群馬銀行グリーンウイングス

開催日時

1月31日（日曜日）午後2時

対戦チーム

JAぎふリオレーナ

試合会場

鶴岡市小真木原総合体育館

開催日時

2月6日（土曜日）正午

対戦チーム

ルートインホテルズブリリアントアリーズ

開催日時

2月7日（日曜日）午後1時

対戦チーム

千葉エンゼルクロス

試合会場

酒田市国体記念体育館

詳しくは検索窓に「アランマーレ山形」と入れてクリック。

問い合わせ スポーツ振興・地域活性化推進課 電話番号 023-630-2284

チケット・グッズをお得にゲット！

やまがたの文化応援キャンペーン、やまがたプロスポーツ応援キャンペーンの利用で、お得にご購入が可能です。

注釈 12月1日時点の情報です。新型コロナの影響で変更となる場合がありますので、事前に問い合わせ先にご確認ください。

旬のやまがた美食レシピ**温泉パワーでシャッキシャキ！「小野川豆もやし」**

置賜地域の伝統野菜「小野川豆もやし」は、米沢市の名湯「小野川温泉」で栽培されてきた在来種の豆もやしです。県内屈指の豪雪地帯である米沢で、食料が少なくなる冬期間に生産できる数少ない作物として長年重宝されてきました。栽培は11月から3月の約4か月間、室堀小屋（むろほりこや）と呼ばれるカヤで囲われた小屋の中で、温泉水を活用してもやしの生育に適した温度を保ちながら行われます。テレビ番組で紹介されたことから、全国的にも広く知られるようになりました。

特長は24～27cmまで伸びる茎のシャッキシャキ感と豆の食感、ビタミンB1・B2・Cなどの栄養価を多く含むこと。おひたしやみそ汁をはじめ、炒め物やラーメン、すきやきなどさまざまな料理に利用され、小野川温泉のお土産としても人気があります。今回は、米沢藩の時代から伝わる郷土料理「冷や汁」のレシピを紹介します。

冷や汁

材料（4～5人前）

小野川豆もやし 50g、雪菜 100g、ほうれん草 150g、干ししいたけ 2枚、干し貝柱（大） 1個、凍みこんにゃく 2枚、打ち豆 20g、戻し汁（しいたけ・貝柱）300cc、しょうゆ大さじ 2、みりん大さじ 3、塩少々

作り方

- ① 干し貝柱は一晩水につけて繊維に沿ってほぐす。
- ② 干ししいたけ、凍みこんにゃくを別々に水に戻す。
- ③ ほうれん草は、ゆでて水を切り3cmに切る。
- ④ 小野川豆もやしは、水からゆでて、根を切り落とし、4～5cmに切る。
- ⑤ 雪菜は3～4cmに切り、ざるごと熱湯に通してから水に入れて冷まし、少し塩（0.5%）をふっておく。
- ⑥ 干ししいたけと凍みこんにゃくは千切りにする。

- ⑦ 干し貝柱と干しいたけの戻し汁にしょうゆ、みりんを入れ、貝柱と打ち豆を加えてさっと煮て、汁とともに冷やす。
- ⑧ 具材を混ぜて、冷所に１時間から一晩おいて完成。

問い合わせ 置賜総合支庁農業振興課 電話番号 0238-26-6051

詳しくは検索窓に「小野川豆もやし」と入れてクリック。

<14 から 15 ページ>

タイトル おいしい山形インフォメーション

山形県の人口と世帯数 令和２年 11 月 1 日現在

人口総数 1,064,031 人（前月比マイナス 923 人）

世帯数 401,849（前月比プラス 2 世帯）

注釈 令和２年 12 月 1 日時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の影響で変更となる場合がありますので、事前にご確認ください。

【催し物】

知っていますか？ 北方領土

2 月 7 日は「北方領土の日」、また、2 月は「北方領土返還運動全国強調月間」です。北方領土の早期返還を願い、パネル展を開催します。

【開催場所】

置賜総合支庁（米沢市）

【開催期間】

1 月 25 日（月曜日）から 29 日（金曜日）

【開催場所】

県庁（山形市）

【開催期間】

2 月 1 日（月曜日）から 5 日（金曜日）

【開催場所】

庄内総合支庁（三川町）

【開催期間】

2 月 8 日（月曜日）から 12 日（金曜日）

【開催場所】

村山総合支庁（山形市）

【開催期間】

2 月 15 日（月曜日）から 19 日（金曜日）

【開催場所】

最上総合支庁（新庄市）

【開催期間】

2月22日（月曜日）から26日（金曜日）

問い合わせ 広報広聴推進課 電話番号 023-630-2088

山形県職員公務研究セミナー

県の仕事に興味があり、県職員採用試験の受験を考えている方を対象に、県の仕事内容や働き方を、少人数ブース形式で紹介します。オンラインでの参加も可能です。

◆日時

2月19日（金曜日）午前10時30分から午後4時25分

◆場所

県庁（山形市）

（注釈）事前申込制です。1月29日（金曜日）までに、「やまがたe申請」からお申し込みください。

詳しくは検索窓に「山形県職員採用」と入れてクリック。

問い合わせ 人事委員会事務局 電話番号 023-630-2782

音楽のワンダーランド in 山形

～オーケストラでよみがえる心の風景～

映画音楽やクラシックの名曲のエッセンスなどを山形交響楽団の演奏でお届けするコンサートを開催します。

◆日時

2月5日（金曜日）午後7時から

◆会場

やまぎん県民ホール（山形市）

◆入場

無料（要申込：往復ハガキ）

◆申込締切

1月22日（金曜日）必着

◆申込

山響チケットサービス 電話番号 023-616-6607

問い合わせ 企業局総務企画課 電話番号 023-630-2786

詳しくはこちら

http://www.yamakyō.or.jp/concert/2021/02/concert_2644.html#info

【募集】

自治医科大学入学者募集

自治医科大学は、地域医療を担う医師の養成を目的とし、全国の都道府県が共同で栃木県に設立した大学です。一定の条件を満たした場合、入学金、授業料が免除されます。

◆募集学部

医学部

◆募集定員

全国で123名

◆出願期間

1月4日（月曜日）から20日（水曜日）午後5時必着（郵送の場合は1月19日（火曜日）の消印有効）

◆第1次試験日

〈学力〉

期日：1月25日（月曜日）

会場：県総合研修センター（山形市）

〈面接〉

期日：1月26日（火曜日）学力試験及第者のみ実施

会場：県庁（山形市）

◆出願書類配布場所

県庁（医療政策課）、県内各高校、自治医科大学ホームページ

（注釈）受験資格など詳しくは下記へ。

問い合わせ 医療政策課 電話番号 023-630-2258

【お知らせ】

「山形ラ・フランス」がGI登録！

未入会の出荷団体・個人の方は協議会へご相談ください

令和2年8月19日、「山形ラ・フランス」が地理的表示（GI）保護制度に登録されました。

GI「山形ラ・フランス」の表示には、山形県「ラ・フランス」振興協議会への入会が必要です。表示を希望する方は所属の出荷団体が入会しているか、県ホームページでご確認ください。未入会の出荷団体、または無所属の生産者の方は、協議会事務局にご相談ください。

詳しくは検索窓に「ラ・フランス情報」と入れてクリック。

問い合わせ 園芸農業推進課（協議会事務局） 電話番号 023-630-2249

献血にご協力ください

若い世代の献血者が減少しています。新たに成人を迎える「はたち」の方を中心として、幅広く献血へのご協力をいただくため、2月末まで「はたちの献血」キャンペーンを実施しています。

献血の申込は下記へ。

〈献血ルームSAKURAMBO〉

住所：山形市香澄町2-2-36 山形センタービル5階

受付時間：午前9時から午後5時

電話：フリーダイヤル 0120-107-093（申込専用）

他にも、県内のスーパーなどへ移動献血車が運行しています。

運行状況や献血ルームの詳細についてはこちら

<https://www.bs.jrc.or.jp/th/yamagata/index.html>

問い合わせ 健康福祉企画課 電話番号 023-630-2333

令和2年12月1日からあわび・なまこの採捕が禁止されました

漁業法の改正により、密漁対策が強化され、あわび・なまこをとることが禁止されました。

◆対象者

全ての人（漁業許可、漁業権等に基づく採捕を除きます）

◆適用海域

全ての海域（酒田港、鼠ヶ関マリーナの漁業権消滅区域を含みます）

◆罰則

3年以下の懲役または3千万円以下の罰金

問い合わせ 庄内総合支庁水産振興課 電話番号 0234-24-6046

児童・障がい児（者）に関する各種手当のお知らせ

①児童扶養手当

対象 ひとり親家庭の母または父（もしくは養育者）

支給期間 子どもが18歳に達した年度末まで（障がいがある場合は20歳未満まで）

■支給月額

児童1人

全部支給／43,160円

一部支給／43,150円から10,180円

児童2人

10,190円から5,100円を加算

児童3人以降

1人につき6,110円から3,060円を加算

支給月 1・3・5・7・9・11月

②特別児童扶養手当

対象 重度から中度の障がいがある子どもを在宅で育てている方

支給期間 子どもが20歳に達するまで

支給月額

1級障害 52,500円、2級障害 34,970円

支給月 4・8・11月

③特別障害者手当（障害児福祉手当）

対象 重度の障がいがあり、在宅で生活している方

支給月額

障害児福祉手当（20歳未満）14,880円

特別障害者手当（20歳以上）27,350円

支給月 2・5・8・11月

申請窓口 各市町村福祉担当課

注釈 いずれの手当も障がい程度・所得制限など一定の要件があり、認定を受けた場合、申請月の翌月分から支給されます。

問い合わせ

①・②子ども家庭課 電話 023-630-2263

③障がい福祉課 電話 023-630-2275

山形県知事選挙および山形県議会議員補欠選挙

【投票日】1月24日（日曜日）

【投票時間】午前7時から午後8時（一部地域を除く）

当日投票ができない方は期日前投票をご活用ください！

【山形県知事選挙の期日前投票】（注釈）一部の期日前投票所を除く

1月8日（金曜日）から23日（土曜日）午前8時30分から午後8時

【山形県議会議員補欠選挙の期日前投票】

◆対象区域：山形市選挙区（注釈）一部の期日前投票所を除く

1月16日（土曜日）から23日（土曜日）午前8時30分から午後8時

選挙のめいすいくん：投票所では感染防止対策を徹底しています！

問い合わせ 選挙管理委員会事務局 電話番号 023-630-2081

新型コロナウイルス 相談・受診の流れ

〈発熱や咳などの「症状がある」場合〉

かかりつけ医療機関がある方は

診察券に書いてあるかかりつけ医療機関の電話番号へ

- ・受診前に、必ず電話で受診相談をお願いします。
- ・相談を受けた医療機関で対応できないときは、最寄りの対応医療機関をご案内します。
- ・発熱等の患者の診療や検査を行う「診療・検査医療機関」が診察します。

かかりつけ医療機関がない方は

- ・受診相談コールセンターへ電話相談
フリーダイヤル 0120-88-0006【24時間受付・土日祝日も含む】
- ・医療機関をご案内します
- ・発熱等の患者の診療や検査を行う「診療・検査医療機関」が診察します。

〈「症状がない」場合〉

- ・感染していないか心配
- ・予防方法を聞きたい 等

電話相談

一般相談コールセンター

フリーダイヤル 0120-56-7383【受付時間 午前8時30分から午後6時 土日祝日含む】

厚生労働省の電話相談

フリーダイヤル 0120-56-5653【受付時間 午前9時から午後9時 土日祝日含む】

聴覚や言語機能に障がいがある方については、以下の方法により受付をしております。

ファクシミリ 023-625-4294（月曜日から金曜日（祝日除く）午前8時30分から午後5時15分）

プレゼントクイズ

山形県では「〇〇〇するなら山形県」の実現に向けて、県民みんなで結婚・子育てを応援しています。〇〇〇に

は何が入るでしょう。

ヒント4から5ページ 特集1

1等 やまがたマリアージュ【5名様】

ぼんち株式会社（寒河江市）

第5回 やまがた土産菓子コンテストマイスイーツ賞 受賞

2等 魔女の媚薬セット【10名様】

虹のネットワーク（山形市）

第5回 やまがた土産菓子コンテスト審査員特別賞 受賞

正解者の中から抽選で賞品（指定はできません）をプレゼント！

はがきに①クイズの答え②「県民のあゆみ」への感想など③郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入してお送りください。Eメールでの応募の場合は、本文に①から③を入力し、タイトル「プレゼントクイズ」で、y-ayumi@pref.yamagata.jp に送信してください。

あて先

郵便番号 990-8570（住所は不要です）山形県広報広聴推進課「県民のあゆみ」1月号プレゼントクイズ係

締め切り 1月31日（日曜日）（当日消印有効）

注釈 応募いただいた個人情報は、賞品発送と「県民のあゆみ」の記事作成にのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。なお、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

<16 ページ>

タイトル **やまがた伝説**

納豆・醤油・味噌は健康に良い発酵食品の代表選手 山形にも多くの地場産業が！？

身近にたくさんあって口にすることも多い

発酵食品ってなに？

納豆、醤油、味噌、酢、パン、チーズ、ヨーグルト、日本酒、ビール、ワイン…これらはすべて発酵食品です。キムチや三五八漬けなど漬物にも発酵を伴うものがあります。発酵は、菌と呼ばれる微生物の力で食材をさまざまに変化させ、豊かな栄養や旨味、甘味、酸味、アルコール分などをつくり出します。長期保存できるようになるのも利点の一つです。冬が長く、食料の乏しかった山形では、多くの発酵食品が伝統的な食文化として受け継がれています。

日本三大納豆菌メーカーの一つが

山形にあるんだって！

発酵食品の代表格といえば納豆。ひっぱりうどん、納豆汁など山形の郷土料理にも欠かせません。腸の働きを整えるほか、死亡リスクを低下させる効果も報告されています。納豆は大豆を納豆菌で発酵させてつくります。この納豆菌を製造・販売する会社は日本に3社しかなく、その一つが上山市にある昭和10年創業の有限会社高橋祐蔵研究所です。そのためか、山形県には納豆メーカーが20社以上もあり、年間支出金額では山形市が全国4位（注釈）で常に上位です。

（注釈）総務省 2019 年家計調査 1 世帯当たりの納豆購入額（県庁所在地）

人口 10 万人当たりの醤油蔵の数は全国 3 位、 味噌蔵の数は日本一なんだ！（注釈）

醤油、味噌は、大豆を原料に麹菌、乳酸菌、酵母菌などによってつくられます。どちらも、山形県民が大好きなラーメンやそば、芋煮、玉こんにゃく、だしなどに幅広く使われています。県内メーカーの数も多く、それだけ地元の味として醤油・味噌に小さい頃から慣れ親しんでいると言えます。また、酒づくりも山形県の伝統的な発酵文化です。山形県の日本酒、ワインのレベルは国内トップクラスで、近年は海外でも高い評価を得ています。

（注釈） 「みそ醸造」「しょうゆ醸造」の登録件数推移（2005 年から 2014 年）「出典：タウンページデータベース」

発酵食品についてお話をお聞きした

北林 蒔子（きたばやし まきこ）さん

山形県立米沢栄養大学 教授

山形県に多い発酵食品は、適量を心がけて毎日摂ることが大切です。

発酵食品が持っている菌は、腸内環境を整えるうえでとても大事なものです。免疫力を高めたり、不安や緊張、ストレスを抑える効果もあると言われています。塩分の摂り過ぎに気を付けながら、毎日の生活に取り入れましょう。

奥付

山形県広報誌 県民のあゆみ 令和 3 年 1 月号 619 号

奇数月 1 日発行 編集発行 山形県広報広聴推進課

郵便番号 990-8570 山形市松波二丁目 8 番 1 号 電話番号 023-630-2534

表紙題字 山形県知事 吉村美栄子

県ホームページアドレス <https://www.pref.yamagata.jp/>